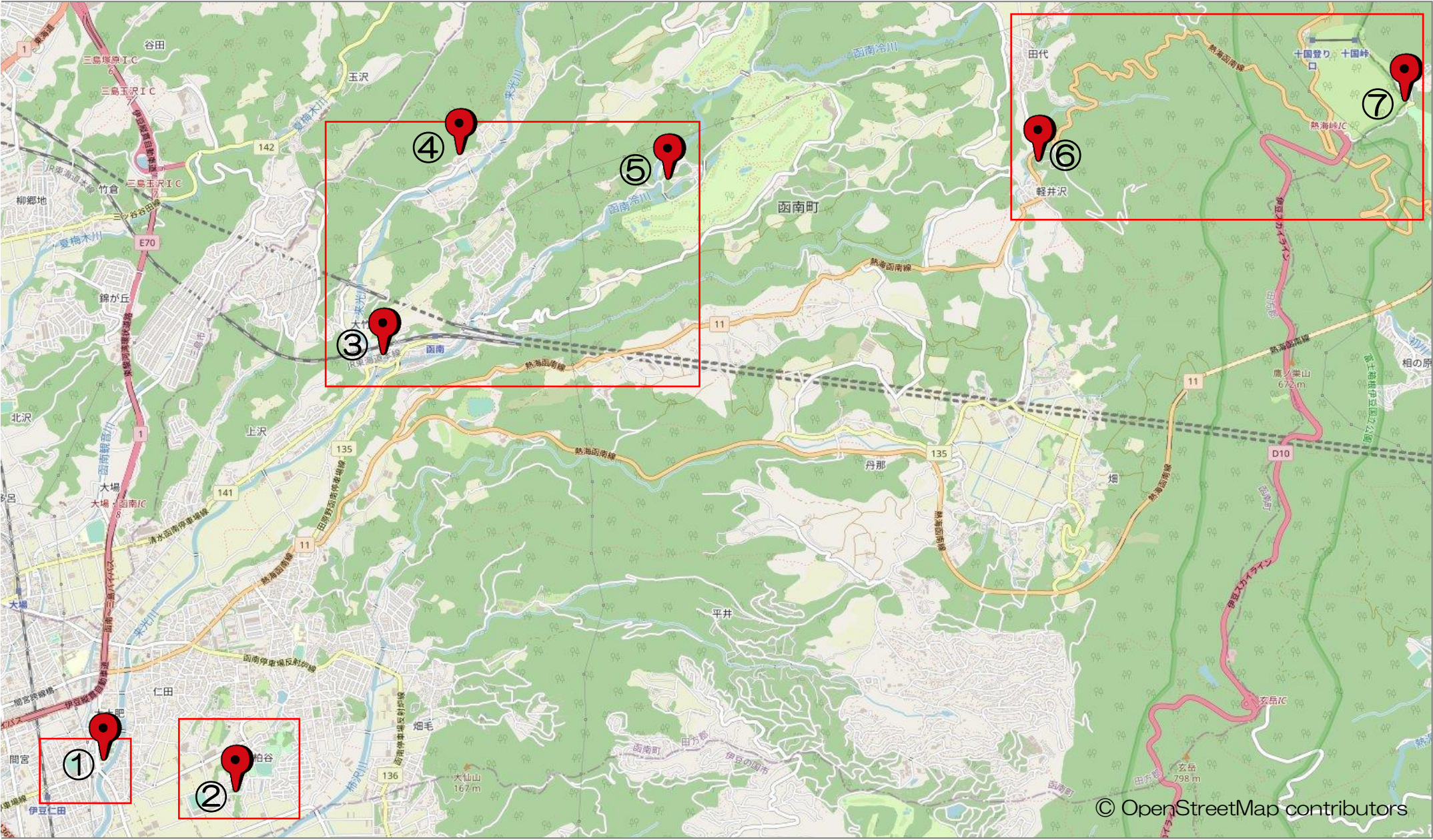


鎌倉殿×伊豆の武士たちゆかりの函南町史跡マップ



※詳細図は裏面にあります。

作成年月：令和3年12月
作成者：函南町立図書館

①【仁田忠常の墓】

所在地：函南町仁田167-1



仁田忠常は、治承四年(1180)源頼朝の葦山挙兵で初陣を飾り、以来頼朝に従軍し、数多くの功をあげ、その史話も多く残されている。頼朝没後、北条氏の謀略により加藤景廉に討たれ、37歳で亡くなった。仁田家の屋敷内に現在三基の五輪塔が祀られ、中央が忠常、左右が弟の忠正、忠時の墓として伝えられている。

②【六萬部寺の経塚】

所在地：函南町柏谷430



経塚とは仏教の經典を地中に埋納し、地表に小規模の盛土をし、塚を造ったもの。高さ3.5m、径13.1mのお椀形で周囲を石積みの柵で囲われている。本塚には源頼朝・文覚上人・護良親王に関する伝説が多く、その名称も頼朝が六万部の経を読破したことからであると伝えられている。

六萬部寺 ☎ 055-978-2901

③【北条宗時・狩野茂光の墓】

所在地：函南町大竹218-4



北条宗時は父・時政、弟・義時とともに源頼朝に従軍、石橋山合戦で敗走、平井付近で平井名主・紀六久重により射取られたと『吾妻鏡』にある。宗時神社の境内に大小二基の宝篋印塔があり、大きい方が北条宗時、小さい方が狩野茂光の墓と伝えられている。

④【 kannami Bōの里美術館】

所在地：函南町桑原89-1



収蔵品の「阿弥陀如来及両脇像」は、『吾妻鏡』に石橋山合戦で戦死した北条宗時の墳墓堂が伊豆国桑原郷にあったことが記されていることなどから、源頼朝の舅・時政が、戦死した息子・宗時の慰霊のために、慶派の仏師・実慶に造像させたと考えられている。

☎055-948-9330
開館時間：10時～16時30分 休館日：火曜日、年末年始
観覧料：300円（高校生以上） 200円（65歳以上）
100円（小・中学生）

⑤【高源寺】

所在地：函南町桑原1265



源頼朝伊豆配流の折の後年、頼朝の乳母・比企尼の計らいで文覚上人と源氏再興の作戦計画をした寺ともいわれ、石橋山合戦出陣旗揚げ、軍勢ぞろいの地とも伝えられている。なお、現在高源寺境内にある墓は比企尼の墓といわれている。

☎055-978-5037

⑥【駒形像】

所在地：函南町軽井沢



本像は、高さ91cm、幅76cmの板状の石に烏帽子単衣の人物を乗せた馬(駒)が浮き彫りされている。一説には、源頼朝がこの地で得た名馬「池月」に乗った姿を、彼の家臣・秩父重忠が矢の根で刻んだとも伝えられている。なお、本像を納める駒形堂はもと弦巻山の中腹にあったといわれている。

⑦【源実朝の歌碑】

所在地：函南町桑原・熱海市伊豆山



十国峠、日金山山頂にある歌碑。鎌倉幕府三代将軍源実朝が21～22歳の頃、鎌倉から箱根権現の参詣を終え、伊豆山権現に向かう折に詠まれた。碑は昭和7年(1932)7月に建てられたものである。

箱根十国峠ケーブルカー ☎0557-81-6895
箱根十国峠レストハウス ☎0557-83-6211

本マップのカラー版を函南町立図書館ホームページで公開しています。ご自由にダウンロードしてご利用ください。

【参考文献】

『函南町誌 上巻』函南町, 1984
『函南町の文化財（第二版）』函南町教育委員会, 1983
『函南町の文化財（第三版）』函南町教育委員会, 1991
『薬師堂仏像群への誘い 一函南町 桑原一』函南町教育委員会, 1993



